

ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース

運用報告書（全体版）（第19作成期）

第106期（2023年11月27日） 第109期（2024年2月26日）
第107期（2023年12月25日） 第110期（2024年3月25日）
第108期（2024年1月25日） 第111期（2024年4月25日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。


商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年12月19日から2027年4月26日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネーブルマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、2024年4月25日に第111期決算を行いましたので、第106期から第111期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債券組入比率	債券先物比率	UBSユニバーサル・トラス・ト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)組入比率	純資産額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
		円	円	%	%	%	%	百万円
第15作成期	82期(2021年11月25日)	370	10	1.6	—	—	98.7	9,214
	83期(2021年12月27日)	359	5	△1.6	—	—	98.9	8,686
	84期(2022年1月25日)	369	5	4.2	—	—	98.8	8,067
	85期(2022年2月25日)	397	5	8.9	—	—	98.9	8,018
	86期(2022年3月25日)	435	5	10.8	—	—	98.6	8,628
	87期(2022年4月25日)	409	5	△4.8	—	—	98.6	7,717
第16作成期	88期(2022年5月25日)	402	5	△0.5	—	—	98.9	7,607
	89期(2022年6月27日)	341	5	△13.9	—	—	98.5	6,339
	90期(2022年7月25日)	328	5	△2.3	—	—	98.7	6,173
	91期(2022年8月25日)	370	5	14.3	—	—	98.5	6,948
	92期(2022年9月26日)	377	5	3.2	—	—	99.0	7,030
	93期(2022年10月25日)	384	5	3.2	—	—	98.6	7,027
第17作成期	94期(2022年11月25日)	344	5	△9.1	—	—	98.9	6,296
	95期(2022年12月26日)	331	5	△2.3	—	—	98.6	6,082
	96期(2023年1月25日)	332	5	1.8	—	—	98.8	6,132
	97期(2023年2月27日)	322	5	△1.5	—	—	98.5	5,890
	98期(2023年3月27日)	289	5	△8.7	—	—	98.6	5,308
	99期(2023年4月25日)	310	5	9.0	—	—	98.8	5,727
第18作成期	100期(2023年5月25日)	324	5	6.1	—	—	98.6	6,020
	101期(2023年6月26日)	353	5	10.5	—	—	98.7	6,477
	102期(2023年7月25日)	355	5	2.0	—	—	98.7	6,460
	103期(2023年8月25日)	336	5	△3.9	—	—	98.5	6,095
	104期(2023年9月25日)	332	5	0.3	—	—	98.6	6,046
	105期(2023年10月25日)	321	5	△1.8	—	—	98.6	5,884
第19作成期	106期(2023年11月27日)	337	5	6.5	—	—	98.9	6,103
	107期(2023年12月25日)	334	5	0.6	—	—	98.5	5,687
	108期(2024年1月25日)	323	5	△1.8	—	—	98.5	5,421
	109期(2024年2月26日)	328	5	3.1	—	—	98.5	5,424
	110期(2024年3月25日)	315	5	△2.4	0.6	—	98.5	5,171
	111期(2024年4月25日)	303	5	△2.2	0.6	—	98.7	4,976

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日		基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	UBSユニバーサル・ トラスト (ケイマン)Ⅲー ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ソイン・アルファ・ クラスト) 組 入 比 率
			円	%			
第106期	期 首 (前期末)	2023年10月25日	321	—	—	—	% 98.6
		10月末	315	△1.9	—	—	98.5
	期 末	2023年11月27日	342	6.5	—	—	98.9
第107期	期 首 (前期末)	2023年11月27日	337	—	—	—	98.9
		11月末	335	△0.6	—	—	98.5
	期 末	2023年12月25日	339	0.6	—	—	98.5
第108期	期 首 (前期末)	2023年12月25日	334	—	—	—	98.5
		12月末	335	0.3	—	—	98.7
	期 末	2024年1月25日	328	△1.8	—	—	98.5
第109期	期 首 (前期末)	2024年1月25日	323	—	—	—	98.5
		1月末	324	0.3	—	—	98.6
	期 末	2024年2月26日	333	3.1	—	—	98.5
第110期	期 首 (前期末)	2024年2月26日	328	—	—	—	98.5
		2月末	329	0.3	—	—	98.5
	期 末	2024年3月25日	320	△2.4	0.6	—	98.5
第111期	期 首 (前期末)	2024年3月25日	315	—	0.6	—	98.5
		3月末	318	1.0	0.6	—	98.5
	期 末	2024年4月25日	308	△2.2	0.6	—	98.7

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

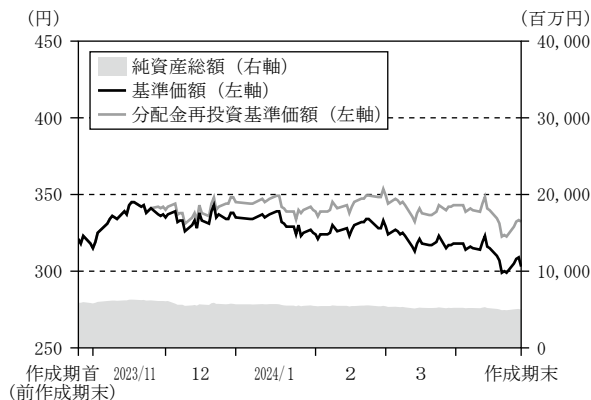
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第106期首：321円

第111期末：303円（既払分配金30円）

騰落率：3.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、ブラジル株式（米ドル建てETF）、米ドルが円に対し上昇したことなどがプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	4.4%
マネープールマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

ブラジル株式市場は上昇しました。作成期初から2023年年末にかけては、ブラジル中央銀行による政策金利の引下げが好感されたほか、米国の金融引締め局面が終了すると観測から投資家がリスク選好姿勢を強めたことなどから株価は上昇基調で推移しました。鉄鉱石価格の上昇も関連銘柄の株価を押し上げました。しかし2024年に入ると、米国において、雇用の堅調さや2023年12月CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回る伸びを示したことを受けて、早期利下げ観測が後退するなか、株価は下落に転じました。その後は、ブラジルの追加利下げが継続されたことや、原油価格が上昇したことなどを材料に株価は上昇しました。作成期末にかけては、米国の根強いインフレを背景に早期利下げ観測が後退したことや、中東情勢への警戒感などから株価は下落基調で推移しました。しかし、その後は中東情勢への過度な警戒感が後退したことなどから株価は値を戻す展開となりました。

【為替市況】

円・米ドル相場は円安米ドル高となりました。作成期初から2023年年末にかけては、10月米CPIがインフレ減速を示し、2024年に利下げが開始されるとの観測が台頭したことや、日銀植田総裁の発言を受けて、日銀がマイナス金利を解除するとの見方が強まったことなどから円高米ドル安となりました。2024年に入り、米国の良好な経済指標の発表や、1月米CPIが市場予想を上回る伸びを示したことなどからFRB（米連邦準備制度理事会）による早期利下げ観測が後退し、円安米ドル高となりました。3月上旬には、日銀がマイナス金利解除に傾くとの見通しから、米ドルは円に対して急落する局面もありましたが、その後は、日銀がマイナス金利の解除に踏み切ったものの、当面は緩和的な環境を維持するとの方針を示したこと等から、再び円安米ドル高に転じました。作成期末には、3月米CPIが総じて市場予想を上回り、さらに円安米ドル高が進みました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.20\%$ から作成期末は 0.02% となりました。作成期中においては、日銀によるマイナス金利解除や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

【UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

【マネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移していたため組入れを見送っていましたが、2024年3月中旬に利回りがプラスとなった国庫短期証券を60%程度組入れました。残りの資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第106期から第111期まで各5円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

【UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金+ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

【マネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀はマイナス金利政策の解除を行いました。依然として緩和的な姿勢を示しており、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2023年10月26日から2024年4月25日まで)

費用の明細

項目	第106期～第111期		項目の概要
	2023/10/26～2024/4/25		
	金額	比率	
平均基準価額	326円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	2円 (1) (1) (0)	0.731% (0.275) (0.440) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.055 (0.055)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.007 (0.007)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	2	0.793	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

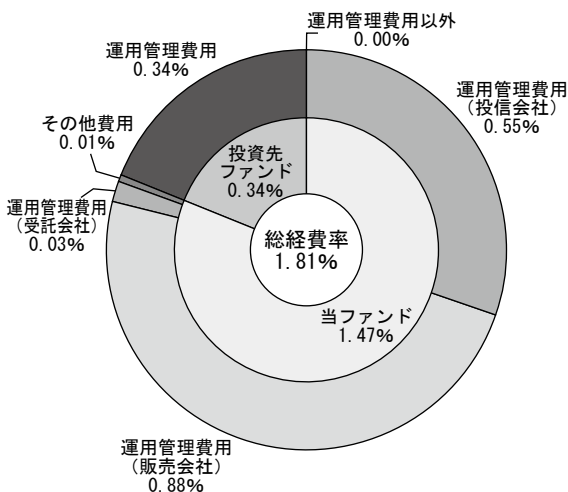
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.81%です。



総経費率 (①+②+③)	1.81%
①当ファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2023年10月26日から2024年4月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第 106 期 ~ 第 111 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	U B S ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口	千円	口	千円
		1,025,477	270,500	3,112,494	839,887

(注) 金額は受渡代金。単位未满是切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2023年10月26日から2024年4月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2024年4月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第105期末)	当 作 成 期 末 (第 111 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	22,144,358	20,057,341	4,914,048	98.7

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 105 期 末)	当 作 成 期 末 (第 111 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	額
マネープールマザーファンド	49,210	49,210	49,825	49,825

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は52,918千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2024年4月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 111 期 末)	
	評 価 額	比 率
UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	4,914,048	96.9
マネープールマザーファンド	49,825	1.0
コール・ローン等、その他	106,871	2.1
投資信託財産総額	5,070,744	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年11月27日現在 2023年12月25日現在 2024年1月25日現在 2024年2月26日現在 2024年3月25日現在 2024年4月25日現在

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末
(A) 資産	6,239,761,227円	5,821,289,854円	5,543,069,491円	5,536,947,473円	5,271,921,385円	5,070,744,698円
コール・ローン等	154,942,015	139,986,134	154,141,655	144,790,121	127,944,042	106,870,037
UBSユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ ファンド(適格機関投資家限定 (ツイン・アルファ・クラス) マネーボールマザーファンド(評価額)	6,034,988,418	5,599,596,365	5,339,101,963	5,342,336,400	5,094,156,216	4,914,048,640
未収入金	49,830,794	49,825,873	49,825,873	49,820,952	49,820,952	49,825,873
未収利息	-	31,881,482	-	-	-	-
(B) 負債	136,395,137	133,958,346	121,471,045	112,865,561	100,850,485	94,092,243
未払金	-	-	16,000,000	6,000,000	6,000,000	-
未払収益分配金	90,538,494	85,132,123	84,045,038	82,675,765	81,976,163	82,207,817
未払解約金	37,726,544	42,306,236	14,353,795	17,104,855	6,896,514	5,439,806
未払信託報酬	8,045,165	6,451,859	6,998,305	7,010,960	5,915,547	6,377,500
その他未払費用	258	223	249	192	-	-
(C) 純資産総額(A-B)	6,103,366,090	5,687,331,508	5,421,598,446	5,424,081,912	5,171,070,900	4,976,652,455
元本	181,076,988,506	170,264,246,566	168,090,077,308	165,351,530,396	163,952,326,090	164,415,635,894
次期繰越損益金	△174,973,622,416	△164,576,915,058	△162,668,478,862	△159,927,448,484	△158,781,255,190	△159,438,983,439
(D) 受益権総口数	181,076,988,506口	170,264,246,566口	168,090,077,308口	165,351,530,396口	163,952,326,090口	164,415,635,894口
1万口当たり基準価額(C/D)	337円	334円	323円	328円	315円	303円

(注) 当ファンドの第106期首元本額は183,452,370,683円、第106～111期中追加設定元本額は19,963,520,522円、第106～111期中一部解約元本額は39,000,255,311円です。

(注) 元本の欠損

第111期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は159,438,983,439円です。

(注) 第111期末の1口当たり純資産額は0.0303円です。

損益の状況

自2023年10月26日 自2023年11月28日 自2023年12月26日 自2024年1月26日 自2024年2月27日 自2024年3月26日
至2023年11月27日 至2023年12月25日 至2024年1月25日 至2024年2月26日 至2024年3月25日 至2024年4月25日

項 目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
(A) 配当等収益	109,359,380円	100,269,125円	100,872,255円	100,418,025円	99,013,943円	79,736,292円
受取配当金	109,363,731	100,274,400	100,875,863	100,420,701	99,014,512	79,733,645
受取利息	-	26	-	-	851	2,647
支払利息	△ 4,351	△ 5,301	△ 3,608	△ 2,676	△ 1,420	-
(B) 有価証券売買損益	283,822,877	△ 59,293,908	△ 202,728,803	80,179,713	△ 217,280,595	△ 199,423,865
売買益	286,748,529	1,460,973	△ 476,938	79,639,321	967,699	△ 573,361
売買損	△ 2,925,652	△ 60,754,881	△ 202,251,865	540,392	△ 218,248,294	△ 198,850,504
(C) 信託報酬等	△ 8,129,841	△ 6,519,764	△ 7,071,963	△ 7,084,749	△ 5,977,808	△ 6,444,620
(D) 当期損益金(A+B+C)	385,052,416	△ 34,455,453	△ 108,928,511	173,512,989	△ 124,244,460	△ 126,132,193
(E) 前期繰越損益金	△ 5,584,087,725	△ 4,801,027,807	△ 4,711,356,787	△ 4,746,615,115	△ 4,543,506,118	△ 4,664,222,888
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△169,684,048,613 (△17,800,757,413)	△159,725,210,581 (△16,742,321,971)	△157,764,148,526 (△16,530,269,729)	△155,271,670,593 (△16,262,405,634)	△154,031,528,449 (△16,126,628,366)	△154,566,420,541 (△16,174,276,981)
(F) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(△187,484,806,026)	(△176,467,532,552)	(△174,294,418,255)	(△171,534,076,227)	(△170,158,156,815)	(△170,740,697,522)
(G) 合計(D+E+F)	△174,883,083,922	△164,491,782,935	△162,584,433,824	△159,844,772,719	△158,699,279,027	△159,356,775,622
(H) 収益分配金	△ 90,538,494	△ 85,132,123	△ 84,045,038	△ 82,675,765	△ 81,976,163	△ 82,207,817
次期繰越損益金(G+H)	△174,973,622,416	△164,576,915,058	△162,668,478,862	△159,927,448,484	△158,781,255,190	△159,438,983,439
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△169,684,048,613 (△17,800,757,413)	△159,725,210,581 (△16,742,321,971)	△157,764,148,526 (△16,530,269,729)	△155,271,670,593 (△16,262,405,634)	△154,031,528,449 (△16,126,628,366)	△154,566,420,541 (△16,174,276,981)
(F) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(△187,484,806,026)	(△176,467,532,552)	(△174,294,418,255)	(△171,534,076,227)	(△170,158,156,815)	(△170,740,697,522)
分配準備積立金	46,377,399	52,170,308	60,661,791	72,774,743	82,421,352	72,224,773
繰越損益金	△ 5,335,951,202	△ 4,903,874,785	△ 4,964,992,127	△ 4,728,552,634	△ 4,832,148,093	△ 4,944,787,671

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第106期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（107,098,471円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（17,800,757,413円）および分配準備積立金（29,817,422円）より、分配対象収益は17,937,673,306円（1万口当たり990円）であり、うち90,538,494円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第107期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（93,749,361円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,742,321,971円）および分配準備積立金（43,553,070円）より、分配対象収益は16,879,624,402円（1万口当たり991円）であり、うち85,132,123円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第108期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（93,800,292円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,530,269,729円）および分配準備積立金（50,906,537円）より、分配対象収益は16,674,976,558円（1万口当たり992円）であり、うち84,045,038円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第109期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（96,478,905円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,262,405,634円）および分配準備積立金（58,971,603円）より、分配対象収益は16,417,856,142円（1万口当たり992円）であり、うち82,675,765円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第110期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（93,036,135円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,126,628,366円）および分配準備積立金（71,361,380円）より、分配対象収益は16,291,025,881円（1万口当たり993円）であり、うち81,976,163円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第111期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（73,291,672円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,174,276,981円）および分配準備積立金（81,140,918円）より、分配対象収益は16,328,709,571円（1万口当たり993円）であり、うち82,207,817円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	2023年10月26日 ～2023年11月27日	2023年11月28日 ～2023年12月25日	2023年12月26日 ～2024年1月25日	2024年1月26日 ～2024年2月26日	2024年2月27日 ～2024年3月25日	2024年3月26日 ～2024年4月25日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
（対基準価額比率）	1.462	1.475	1.524	1.502	1.563	1.623
当期の収益	5	5	5	5	5	4
当期の収益以外	—	—	—	—	—	0
翌期繰越分配対象額	985	986	987	987	988	988

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

- ・2024年1月25日適用で、信託期間を延長し、2027年4月26日までとする信託約款の変更を行いました。
- ・2024年3月1日適用で、下記のとおり、投資対象である外国投資信託等の名称変更を行いました。

●変更内容

	変更後	変更前
投資対象である外国投資信託	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）
外国投資信託の投資運用会社	UBSマネジメント（ケイマン）リミテッド	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

補足情報

マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

公社債

2023年10月26日から2024年4月25日まで

買		付		売		付	
銘柄	柄	金額	金額	銘柄	柄	金額	金額
第1207回国庫短期証券		千円 31,995		—		千円 —	

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

マネープールマザーファンドの組入資産の明細

下記は、マネープールマザーファンド全体（52,918千口）の内容です。

公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

2024年4月25日現在

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 32,000 (32,000)	千円 31,996 (31,996)	% 59.7 (59.7)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 59.7 (59.7)
合計	32,000 (32,000)	31,996 (31,996)	59.7 (59.7)	— (—)	— (—)	— (—)	59.7 (59.7)

（注）（ ）内は非市場場で内書きです。

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（注）残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

2024年4月25日現在

銘柄	柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)		%	千円	千円	
第1207回国庫短期証券		—	32,000	31,996	2025/1/20
合計	計		32,000	31,996	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

組入投資信託証券の内容

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）
（ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運 用 基 本 方 針	<p>（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>（シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 な 投 資 対 象	米ドル建政府債及び担保付スワップ取引等を主要投資対象とします。
投 資 態 度	<p>（ツイン・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 <p>（シングル・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主 な 投 資 制 限	<ol style="list-style-type: none"> ①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
分 配 方 針	原則として、毎月分配を行います。
投 資 運 用 会 社	UBSマネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) (2) : バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3) : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2023年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	358,593口
ツイン・アルファ・クラス	20,479,520
合計	20,838,113口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2022年12月1日～2023年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	1,227,324,751
担保付スワップ取引に係る純損益	(367,568,451)
収益合計	859,756,300
運用費用	21,749,690
運用費用合計	21,749,690
運用損益	838,006,610
分配前の期中の純資産変動	838,006,610
支払分配金	(1,205,575,061)
分配後の期中の純資産変動	(367,568,451)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2023年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	3,585,930,400	395,886,717
ツイン・アルファ・クラス	204,795,199,310	5,631,867,981
合計		6,027,754,698

(注) 日付は現地基準です。

マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第18期（決算日 2023年11月10日）
（計算期間 2022年11月11日から2023年11月10日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2023年11月10日に第18期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
14期（2019年11月11日）	10,152	△0.1	—	—	百万円 213
15期（2020年11月10日）	10,145	△0.1	—	—	109
16期（2021年11月10日）	10,139	△0.1	—	—	75
17期（2022年11月10日）	10,133	△0.1	—	—	57
18期（2023年11月10日）	10,126	△0.1	—	—	53

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
期首 (前期末) 2022年11月10日	10,133	—	—	—
11月末	10,133	0.0	—	—
12月末	10,132	△0.0	—	—
2023年1月末	10,132	△0.0	—	—
2月末	10,131	△0.0	—	—
3月末	10,131	△0.0	—	—
4月末	10,130	△0.0	—	—
5月末	10,130	△0.0	—	—
6月末	10,129	△0.0	—	—
7月末	10,128	△0.0	—	—
8月末	10,128	△0.0	—	—
9月末	10,127	△0.1	—	—
10月末	10,126	△0.1	—	—
期 末 2023年11月10日	10,126	△0.1	—	—

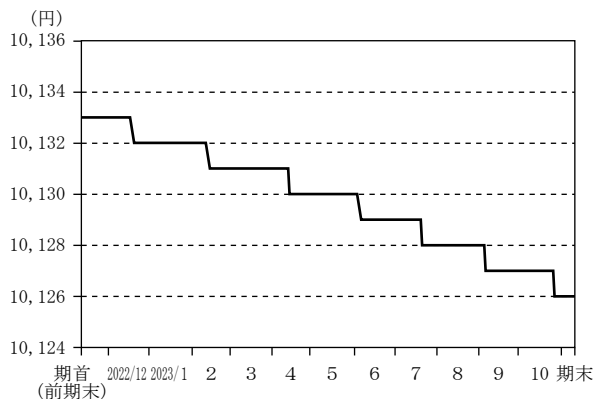
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,133円からスタートし、期末は10,126円となりました。運用対象であるコール・ローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.12%から期末は△0.20%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は長短金利操作の運用を柔軟化していますが、依然として金融緩和を継続する姿勢を示しており、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2022年11月11日から2023年11月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2022年11月11日から2023年11月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2022年11月11日から2023年11月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2023年11月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2023年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	53,026	100.0
投資信託財産総額	53,026	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	53,026,585円
コール・ローン等	53,026,585
(B) 負 債	82
未 払 利 息	82
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	53,026,503
元 本	52,365,520
次 期 繰 越 損 益 金	660,983
(D) 受 益 権 総 口 数	52,365,520口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	10,126円

- (注) 期首元本額 57,121,661円
 期中追加設定元本額 8,519,943円
 期中一部解約元本額 13,276,084円
- (注) 1口当たり純資産額は1,0126円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース 49,210,739円
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) シングルα・米ドルコース 3,154,781円

損益の状況

当期 自2022年11月11日 至2023年11月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 36,262円
受 取 利 息	234
支 払 利 息	△ 36,496
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 36,262
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	761,104
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	110,057
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 173,916
(F) 合 計 (B + C + D + E)	660,983
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	660,983

- (注) 損益の状況の中で
 (D) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。